

中部電力浜岡原発（御前崎市）の再稼働の是非をめぐり、市民団体「ネットワーク県民投票」の近藤千鶴・共同代表ら2人が30日、川勝平太知事に住民投票の実施を要望した。川勝知事は「機会が来た時は、すべき筋のものと考えている」と応じ、投票を実施すべきだとの自身の主張を改めて明確にした。

同団体は、昨年8月に住民投票条例制定を直接請求した団体の後継団体。県庁での要望には、県議会最大会派「自民改革会議」の宮沢正美県議と「民主党・ふじのくに県議団」の四本康久県議も立ち会った。

この日は別の市民団体「県民投票を実現させる有志の会」も川勝知事宛ての「確認書」を県に提出。任期中に「浜岡原発の再稼働問題が提起された時」には、住民投票条例案を知事提案し、実施させるよう求めた。【樋口淳也】